

## ここにこの人あり 地域の世話役さん登場

包括支援センターの専門職が地域の方にインタビューしています。

### 地域の変化は、ここにあり!!

#### 待鳳学区 民生児童委員 田中悦子さん

聞き手 園家 佳都子

平成6年から始まった主任児童委員を6年間されていましたが、お孫さんの世話等で一旦止め、その後平成17年に近所の方からお願いされて民生児童委員になられた田中悦子さんに今回いろいろお話を伺いました。

まず…(語彙説明から)

**主任児童委員さん?** 子供に関することを専門的に担当して、区域担当(民生児童委員)の活動に協力し、市町村・福祉事務所・児童相談所・保健センター・学校などの関係機関と区域担当児童委員さんとの連絡調整・協力・連携をするつなぎ役さん。

**児童委員さん?** 児童委員さんは、民生委員でもあるため児童委員としての活動のほか高齢者福祉や障害福祉などに関する活動を行う人。

主任児童委員さんの頃は、保育園・学校・児童施設の見学や妊婦さんの訪問活動等をしていましたが、その当時、主任児童委員されるのは先生をされていた方が多く、主婦をしていた田中さんは、「自分でいいのかしら?」と思ったそうです。

現在も民生児童委員をされていますが、担当区域の特徴は、一人暮らしでも遠く離れている家族さんがいて身寄りのない人が少ない地域を担当されています。「話を聞いてほしい!」と電話がかかってくると訪問して話を聞く、そして何度か訪問されるときは、惣菜を持って行ってあげたりしながら身近な関係作りに努力されています。

担当区域の方が「近所の方の金銭管理を任せられたので…」と田中さん宅を訪問してきたこともあったそうです。又いつも前向きで親しくお話していた方がケガで一人暮らしが困難になり、以前に何かの折はここに連絡してくださいと言われていた身内に連絡し、身内の近くの施設に入所されていたことがわかり、身内の方から気にかけてくれたことをとても感謝されたそうです。

母子家庭の訪問活動もされています。相談されると「どうしているかな?」「訪問して来よう。」といつも気になるそうです。

息子さん夫婦・孫さん・夫も一緒に生活されて日頃忙しくされています。老人福祉員や他の区域担当民生委員さんから、気になる人の情報を得て訪問されています。常に「これで、お役にたっているのかな?」と反省しながら民生

委員仲間に支えられて活動できることを感謝されています。また週3回子供見守り活動に参加して、安全に子供たちが登校できるように支援されています。

待鳳学区でこの地域に約50年間住んでおられますが、50年前は大きな家ばかりで家同士のつながりもなかったし、区民運動会の参加も少なかったようです。しかし今は、庶民的な地域になり若い方も多く住むようになって、区民運動会の参加も多く地域の方との交流があり、声掛けもしやすくなってきたとのこと。家のこと、担当区域のことで、できそうなことはやるように日頃から努力されている田中さんです。少しずつの工夫や努力の積み重ねが地域に変化を生んでいるのだと思いました。

### 「地域で子育てを支えます」

#### 紫竹学区 主任児童委員 片山香代子さん

聞き手 小林 舞見

今回は、紫竹学区で主任児童委員として活躍されている片山香代子さんにお話を伺いました。

#### 片山 香代子さんの第一印象

インタビューに訪問させていただいた第一印象は「なんて素敵なお笑顔!」もともと子どもが大好きな片山さんは、約15年におよぶ紫竹学区少年補導本部役員として現在も活動されています。平成13年からは紫竹学区の主任児童委員も担ってこられました。少年補導のキャンプなどの行事、小学校の放課後まなび教室、小さいお子さんのいるご家庭への訪問などで大忙しですが、いつも優しい笑顔であふれています。

#### 紫竹学区 子育ておしゃべりクラブ『バンブー』

子育ておしゃべりクラブ『バンブー』は紫竹学区の0歳～3歳児の子どもとお母さんが、気軽に交流できる子育てサロンです。核家族の多い現代社会で子育てをしているお母さんが、孤立しないように子育ての喜びや悩みなど気軽に話して交流したり、保健師さんや歯科衛生士さん等による子育ての情報を得たり、個別の相談をお受けしたり、仲間づくりの機会になる事等を目的としています。

平成23年度に京都市からモデル事業としての依頼があり『バンブー』を立ち上げることになりました。しかし、運営の仕方、予算の使い方、どうやって地域の方にお知らせしたらよいか等わからないことも一杯でした。

先にモデル事業として取り組んでいた、元町学区、鳳徳学区の活動に参加させていただき、民生児童委員協議会会長さんや主任児童委員の方々に運営の仕方などアドバイスをたくさん頂きました。